

仕事の楽しさ厳しさを学ぶ

新宮市 城南中で職業講話

新宮市立城南中学校 職業講話があった。市立（中田善夫校長）で17日、王子ヶ浜小学校教諭の瀬

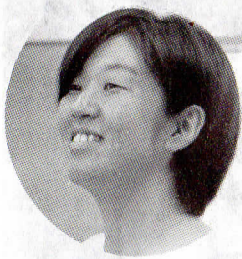


講話に耳を傾ける生徒＝17日、新宮市立城南中学校

古陽さんが「海外で働く日本人」をテーマに話し、3年生54人が働くための心構えや知識などを学んだ。

働く人の話を聞き、仕事の楽しさや厳しさを学び職業に対する理解を深めようと、職場体験の前に毎年行われている。

瀬古さんは、自身が4月まで約3年間を過ごしたフランスのパリを紹介。地形や名所、名産などを写真で説明し、人柄に関して「フランス人は日本人に少ない社交性があります。誰とでも気さくに話をするなど陽気な



瀬古陽さん

人が多い」と語った。

フランスで働く日本人は「世界を舞台に働く日本人」と呼ばれ、フランス大使館や日本銀行で働く「政府関係者」、産業機械や大手電化商社の「企業」、ファッションや芸術、音楽関係の「個人」の3種類に分かれていると述べた。

瀬古さんは海外で求められる能力として▽語学

力▽高い知識と専門性▽対応力▽プレゼンテーション能力を挙げ、「世界は自分たちが思っている以上に広い。日本以外の国を見て文化や習慣、景色をたくさん感じてください」と呼び掛けた。

講話を聞いた永野太一君（14）は「人の話を聞くことによって、想像以上に世界の広さを感じました。授業を通じて将来

につながるきっかけを見つけたのでよかった。」

生徒会長の玉置七彩さん（14）は「以前から海外で働きたい思いがあり、知らないことも多かったので参考になりました。普段の授業などでも情報が少ないため、将来についての輪郭が見えてよかったです」と話していた。（榮本康人）



地域で活躍するダンスチームが会場に花を添えた14日、那智勝浦町

ボードスポーツとフニ

第1回那智浜クルーズ

サーフィンなどのボード

スポーツを通して、地域活性化を図ろうと、那智勝浦町のブルービーチ那智周辺で14日、地元サーファアの中西進一さんが実行委員長を務める「那智浜クルーズLIVE」が開かれた。

町、東牟婁振興局後援。一日を通して約1000人（主催者発表）の来場者が、サーフィンやクリアカヤック、スケートボード、ヨガなどを楽しんだ。

ビーチ近くの南紀熊野体験博跡地、サーフマーカーの加えるマリンの出店も、スウェーデンのグループが設置するフニ、グループ、中西、ク種目に、ンやスケ、ずつでた。第

れば、第